

追加の設定オプションについて

システム管理者は必要に応じて、特別なサービスや機能のほかに、特別なボタンやソフトキーのテンプレートを使用するように電話機を設定できます。次の表は、設定オプションの概要について説明しています。コールの需要や作業環境に応じたオプションの設定について、電話機のシステム管理者と相談するときに役立ちます。



(注) この表に記載されている電話ガイドとその他のマニュアルについては、次の Web サイトから入手できます。
http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html
 日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。
http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_ippt_ipp.shtml

目的または状態	必要な操作	参照先または問い合わせ先
回線が処理できるコール数を増やす必要がある	回線がサポートするコール数を増やすように、システム管理者に設定を依頼します。	システム管理者または電話機のサポートチームにお問い合わせください。
秘書と仕事をしている、または自分が秘書である	共有回線を使用することを検討します。	「共有回線の使用」(P.36)を参照してください。
1つの内線を複数の電話機で使用する	共有回線が必要です。共有回線を使用することで、たとえば1つの内線番号をデスクの電話機と実験室の電話機で使用できます。	「共有回線の使用」(P.36)を参照してください。

目的または状態	必要な操作	参照先または問い合わせ先
<p>電話機やオフィススペースを同僚と共有している</p>	<p>次の機能の導入を検討してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コールパーク：転送機能を使用せずにコールを保存、および取得できます。 • コールピックアップ：別の電話機で鳴っているコールに応答できます。 • 共有回線：同僚のコールを表示、またはそのコールに参加できます。 • Cisco エクステンション モビリティ：共有の Cisco Unified IP Phone に自分の電話番号およびユーザ プロファイルを適用できます。 	<p>これらの機能については、システム管理者にお問い合わせください。また、次の説明を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「応用的なコール処理」 (P.31) • 「共有回線の使用」 (P.36) • 「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」 (P.43)
<p>自分の電話番号と設定を共有の Cisco Unified IP Phone に一時的に適用する</p>	<p>Cisco エクステンション モビリティ サービスについてシステム管理者に問い合わせます。</p>	<p>「Cisco エクステンション モビリティの使用方法」 (P.43) を参照してください。</p>